じゆう時間

-PLAY is TIME-

自分で遊ぶ 自由に遊ぶ 自然と遊ぶ

ツリーイング

体　験　概　要

活動のねらい

ツリーイング体験を通して、樹木を直接肌で感じ、枝先から普段と違った風景を眺め、木と人間との関わりについて考える。

◇ キーワードは

Climbing 木にクライミングすることで、木を体で直接感じ、木の持つすばらしさを体験します。

Learning 木との関りを通して、木を科学的に理解していくと共に、木と人とが関わってきた文化を学びます。

Sharing 木との関りの中で、自然との繋がりを心で感じる。自然と共に生きる喜びと、一人ひとりの木への想いを大切にし、お互いを認め合うことで、木を取り巻く人の輪を広げていきます。

自然体験としてのツリーイング

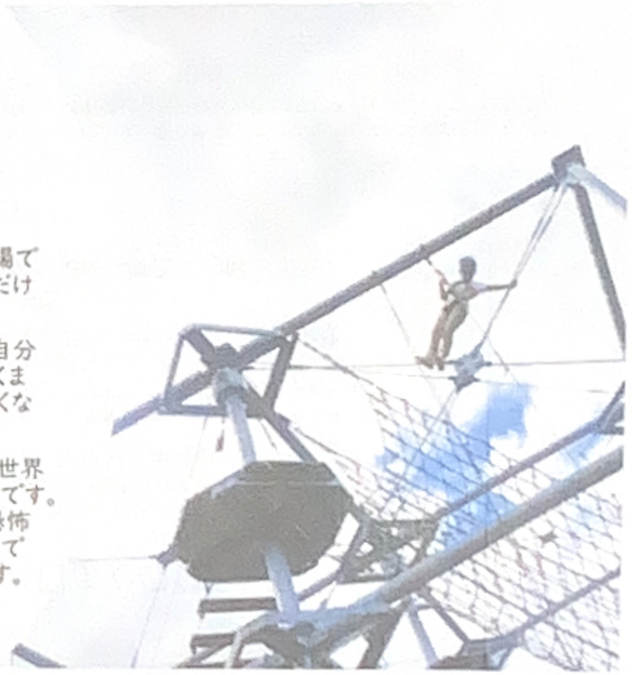
普段は見上げることしかない木にロープ一本でぶら下がり、樹上から大地を見下ろすという体験は滅多にできるものではありません。

ツリーイングを通して樹木を直接肌で感じ、普段と違った視点から森を眺めることで、森の優しさや力強さを、五感を通して体験します。

またツリーイングを通して自然への興味を持つ人々を増やすことが森林整備事業に繋がると考えます。森林の整備をすることは ・海の環境保全 ・酒造りに欠かせない伏流水から地域を学ぶ ・森の保水力が洪水や地滑りの防止になることを知る。小学校の環境学習、防災教育、地域の青少年育成事業など様々な分野での活動へと広がります。

冒険教育としてのツリーイング

ツリーイングは競争ではなく冒険（=チャレンジ）の場です。怖がっている子が1メートルの高さにぶら下がるだけでも大きな冒険であり心の成長です。

ツリーイングでは、どのようなチャレンジをするのか自分自身で考え選べます。例えば1メートル登る、一番高くまで登る、たくさんのロープに登る、枝に立つ、座る、歩くなど、選択肢は様々です。

自分自身で決めた目標にチャレンジをして、新たな世界を探索することが子どもたち1人1人の成長になるのです。ツリーイングというレクリエーションの場だからこそ、恐怖心より好奇心が勝ります。様々なチャレンジをすることで子どもたちは自分自身の殻を破り成長していくのです。